

やさしい古典、見つけたよ！



さあ、11月！ 学校生活も折り返しです。

学習や部活動、生徒会活動に、新たな目標を持って取り組む季節となりました。

11月は「やさしい古典」の紹介をします。夢を思い、人を愛する心は、昔も今も変わらず、にあるもの。

やさしい現代語やマンガで、昔の人の気持ちにふれてみましょう！11月は、新しい本を選ぶ「選書会」もありますよ。読書の秋を楽しもう！！

「枕草子 清少納言のかげやいた日々」(文・時海 結以 出版社・講談社)

「春はあけぼの(春は、明け方がいちばんステキよね!?)」…有名なこの一文ではじまる『枕草子』を書いた清少納言。彼女は、帝の妃の定子に仕えながら、平安時代の貴族の暮らしの様子、考え、思いを書いていきます。小説ではなく「随筆」ですね。この本は、古文ではなく、彼女がどんな思いで枕草子を書いたのか分かる、読みやすい本です！

現代語、マンガ おすすめ・・・

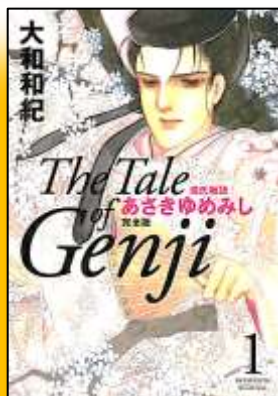
源氏物語

作者：紫式部



まんがで読む源氏物語

マンガと現代語でわかりやすく、光源氏の生い立ち、恋愛を通して平安社会や人間の姿を描いています。



あさきゆめみし

恋した人は、義理の母。光源氏を生涯苦しめる、許されぬ恋が始まり…。『源氏物語』のマンガ化として有名な作品。

竹取物語

作者 不明



竹取物語 (絵本)

江國香織・文 立原 位貫・画
静かなふんいきが伝わります。美しい版画の絵本。



竹取物語 蒼き月のかぐや姫

現代語でわかりやすく、難題を出す姫の気持ちもくみ取って描かれています。

世界最古の長編小説、とも言われる「源氏物語」全 54 帖。平安時代の 1008 年 11 月 1 日から紫式部が書いた、という記録が残っています。それで、2008 年（平成 20 年）から、11 月 1 日を「古典の日」というようになりました。

11月1日は古典の日



やさしい古典・案内!

落窪物語 作者 不明



おちくぼ姫

一人の美しい姫は母を亡くし、継母に引き取られる。継母は姫を嫌い、床の一段低い部屋(おちくぼ)に住まわせ、いじめめる。貴公子の少将は姫のもとへ通うようになるが…。



小倉百人一首

作者 藤原定家

ときめく百人一首図鑑

1 ページに和歌とその内容をイラストとともに紹介。次の1 ページにはその歌が詠まれた理由、時代のように、作者の人がら、関係する人々など楽しいイラストとともに解説しています。他にも、「百人一首」の本は、たくさんありますよ!



古典の森へ

楽しいおしゃべりで現代と古典を橋渡し。「古事記」「かぐや姫」「枕草子」「源氏物語」、近松、西鶴など、古典のもつ面白さ、魅力を教えてください!



はじめて出会う古典作品集 5

古事記・風土記・今昔物語集・宇治拾遺物語・十訓抄・沙石集・御伽草子・伊曾保物語

この本は主に短編のお話が集められている本です。入試に出てくるサイズのお話が多く入っています。

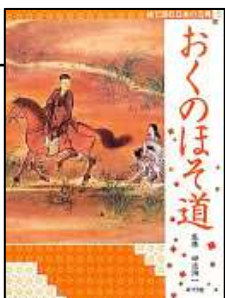


「牛若丸」



「平家物語」

源氏の子、牛若丸(源義経)は、1人鞍馬山に修行に。そのあと、東北藤原氏に育てられる。成長した義経は兄の頼朝を助け、平家を攻め落とす。しかし、優秀な弟を嫌う頼朝は、東北へ逃げた義経や藤原氏を戦いで討ち、のち鎌倉幕府を作った。約500年後、東北の地に旅をした松尾芭蕉はそのことを思い、涙する…。



「おくの細道」 江戸時代



芭蕉さん、なんか良い人やねえ!

「国破れて山河あり、
城春にして草青みたり」
と笠打敷て、時のうつるまで
涙を落し待りぬ。
夏草や 兵どもが 夢の跡

「奥の細道」 松尾芭蕉



2025 選書会

日時: 11/4(月)
午後の時間~

場所: 体育館

各クラス約30分位
見てもらいます。

🌸 静かに行動してください。

🌸 本を大切に!